

県立高校を志願する皆さんへ

平成19年度入学者選抜から



県立高校の 入試制度が変わります



新たな入試について

普通高校の通学区域がなくなります。

自分に合った県立高校を、県内どこからでも志願することができるようになります。

総合選抜制度が廃止されます。

今までは、同じ通学区域内に複数の普通高校がある場合は、総合選抜制度により進学する高校を決定していました。

希望する高校へ進学できないこともありましたが、この制度の廃止により、普通高校においても、希望する高校を直接志願することが可能になります。



入学者選抜制度(入試制度)が改善されます。

● 前期・後期募集制が導入されます。

今までは、推薦入試、一般入試、再募集となっていました。しかし、推薦入試は中学校の推薦を得ることが出願資格となっていたため、多くの生徒は一般入試のみの受検機会となっていました。

推薦入試を前期募集、一般入試を後期募集として、前期募集に、希望するだれもが受検できる「自己推薦」を導入します。(※入学者選抜制度の比較参照)

また、再募集は今までどおり実施します。

● 各高校から「前期募集選抜方法」が事前に公表されます。

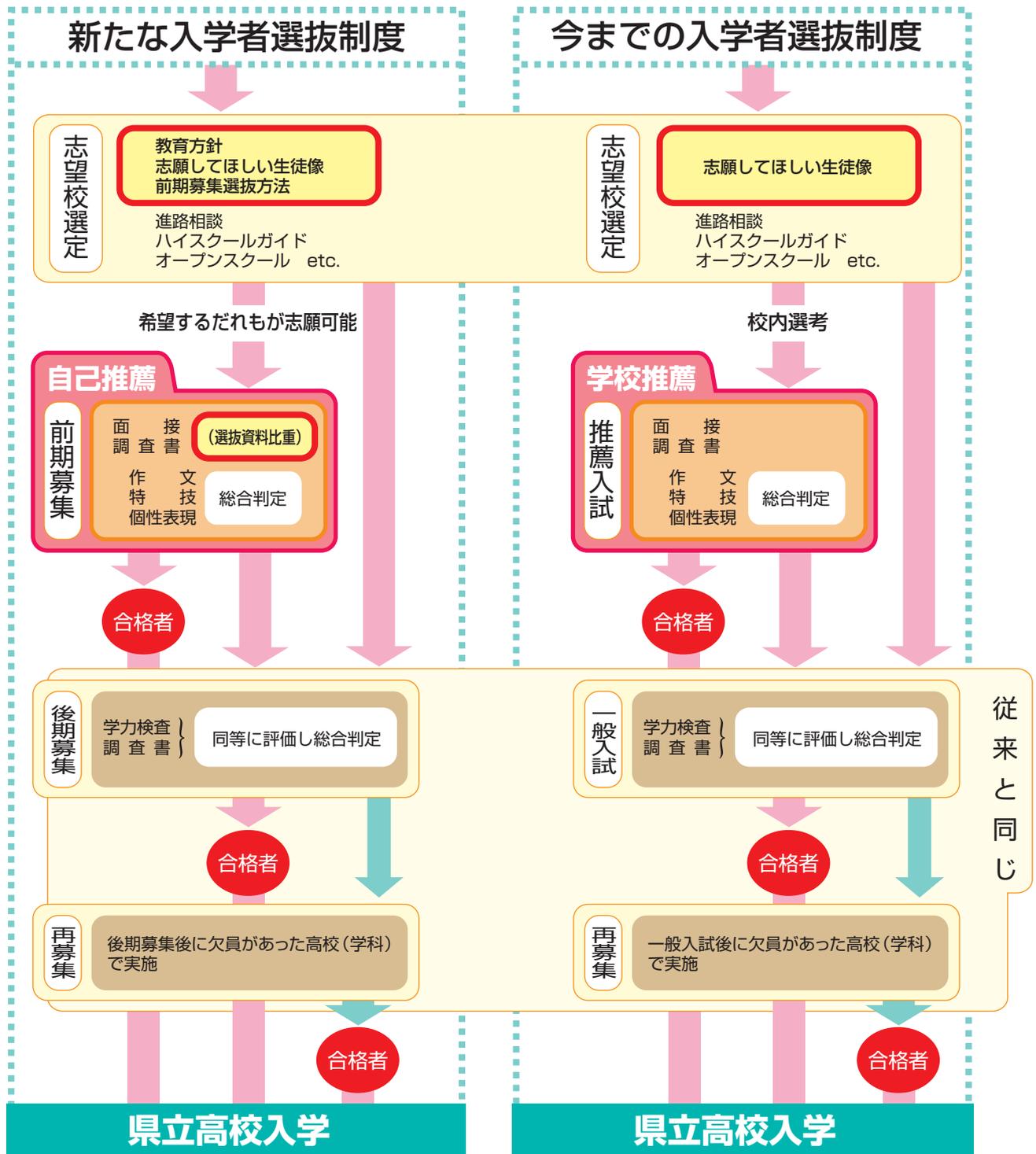
各高校から「前期募集選抜方法」が示されます。この内容には、

- ① 募集定員に対する募集率 …… 前期募集の募集人員の割合 (※別表参照)
 - ② 出願の条件 …………… 前期募集へ出願するための基準
 - ③ 面接の実施方法等 …………… 面接のねらいや実施方法
 - ④ 各学校で定める検査方法 …… 面接以外に実施する検査の内容
 - ⑤ 選抜資料比重 …………… 調査書、面接などの検査の評価比重
- が記載されます。前期募集出願に当たって内容を良く確認してください。



入試制度の比較

入学者選抜制度の比較



別表

学科	前期募集(新制度)	推薦入学(現行)
普通科 (コース及び単位制を含む)	募集定員の10~30%	募集定員の20%
専門教育学科	募集定員の20~40%	募集定員の30%
職業に関する学科	募集定員の30~50%	募集定員の40%
総合学科	募集定員の20~40%	募集定員の30%



募集について

前期募集

概要

- ★全日制課程全ての学科及びコースで実施します。
- ★前期募集に、希望するだれもが出願することができる「自己推薦」を導入します。

中学校の推薦を受けた生徒と受けない生徒では受検機会に差がありました。「自己推薦」の導入により、希望する高校にチャレンジできる機会が増えます。

- ★各高校は、「前期募集選抜方法」の中の「出願の条件」において具体的に基準を示しますので、生徒のみなさんは、自分に合った高校を選ぶことができます。



「出願の条件」に基づき、中学校時代の様々な学校生活の成果を評価します。

例えば、

- 学習に対する意欲や興味・関心
 - スポーツ、文化等についての優れた資質や実績
- etc…

募集人員

- ★前期募集の募集人員は一定の範囲内で各高校において定め、「前期募集選抜方法」の中で示します。

選抜の方法

- ★前期選抜では学力検査を行わず、面接と各高校が必要に応じて実施する、作文、特技、個性表現のいずれか（または複数）をあわせて実施します。
- ★各高校は、「選抜資料比重」に基づき、中学校から提出される調査書の記録と高校が行う検査を総合して選抜します。

後期募集

概要

★従来の一般入試と同じ内容で実施します。

前期募集での合格者は出願できません。
前期募集で出願した高校へ、再度、後期募集で出願することができます。
前期募集に出願せず、後期募集から出願することができます。

募集人員

★募集定員から前期募集での合格者数を除いた数が募集人員となります。

選抜の方法

- ★後期選抜では、従来と同じ5教科による学力検査を実施します。
※5教科(国語、社会、数学、理科、英語)
- ★後期選抜における学力検査の成績と調査書の記録を同等に扱い、選抜します。
- ★専門教育学科と普通科のコース指定では、検査教科の配点を、1.2倍から2倍の範囲内で変えて行うことがあります。

再募集

概要

★従来の再募集と同じ内容で実施します。

募集人員

★募集定員から前期・後期募集までの合格者数を除いた数(欠員が生じた数)が募集人員となります。

選抜の方法

★面接及び作文または学力検査をあわせて実施します。





Q 通学区域がなくなって、どの高校を選べばよいのですか？



各高校からは「教育方針」「志願してほしい生徒像」「前期募集選抜方法」が公表されます。みなさんは、これらの情報を参考に、自分の将来の進路や希望、通学の時間などを考えて高校を選んでください。

なお、各高校では、説明会やオープンスクールなどを実施していますので、積極的に参加してみてください。

○各高校の紹介インターネットでは…

山梨ハイスクールガイド <http://www.kai.ed.jp/hsguide/2005/index.htm>

Q 前期募集の受検準備はどのようにすればよいのですか？



前期募集は学力検査を実施せず、面接や作文など各高校が定める検査内容により実施されます。ですから、前期募集のために特別に準備することはありません。充実した中学校生活を送ることが何よりも大切です。

みなさんは、今までの様々な活動で特に頑張ったことがらや、その高校で何を学びたいのかなどを良く考え、明確にして前期募集に臨んでください。高校は、みなさんの持っている良いところを色々な物差しで評価します。

Q 通学区域がなくなって近くの高校に入学するのはむずかしくならないのですか？



近くの高校を希望するみなさんの進学の手がかりが狭くならないよう、進路希望や地域の中学校卒業生数などを考慮して、それぞれの高校の募集定員を決めています。



この印刷物は、環境保護のため古紙配合率100%の再生紙とVOC（揮発性有機化合物）成分フリーのインキを使用しています。



この印刷物は色覚障害の方に配慮し制作しています。

問い合わせ先:

山梨県教育庁新しい高校づくり推進室
TEL055-223-1767